

Title	投稿規程概略
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院法学研究科
Publication year	1993
Jtitle	法學政治學論究：法律・政治・社会 (Hogaku seijigaku ronkyu : Journal of law and political studies). No.18 (1993. 9) ,p.295- 296
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10086101-00000018-0295

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

投稿規程概略

し、平成元年四月以降に慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程または後期博士課程に入学し、論文刊行費を納入している者については徴収しない。

七 刊行期日 年四回の刊行を予定（別表参照）。

- 一 投稿資格 原則として大学院法学研究科修士課程以上の在学生、研究生、修士の学位を有するもの及び後期博士課程単位取得退学者とする。ただし、大学卒業の者であっても、研究機関、マスコミ、言論機関、その他企業や団体の研究部門において研究に従事している者に対する門戸を開放する。

二 原稿内容 法律学、政治学、社会学に関する学術論文。

三 原稿枚数 四〇〇字詰原稿用紙四〇～八〇枚。二〇〇字詰原稿用紙でもよい。ワープロを使用する場合は、一行三〇字の二〇〇行で、行間をゆったりととり、縦組みのプリントアウトにする。

四 執筆要領 論文審査及び論文を印刷する関係で詳細な執筆要領（投稿規程に付属）があるので、それに従つて執筆すること。

五 論文審査 提出された論文は編集委員会において審査の上、掲載を決定する。この間、編集委員会より原稿の手直しを求めることがある。

六 論文掲載費 論文掲載費として二万円を徴収する。掲載費は審査合格の通知を受けたとき、納入するものとする。ただ

	申込期日	提出期日	刊行期日
春季号	八月一五日	一月一五日	三月一五日
夏季号	一一月一五日	二月一四日	六月一五日
秋季号	二月一四日	五月一五日	九月一五日
冬季号	五月一五日	八月一五日	一二月一五日

十 申込受付期日・論文提出期日 左記の表の各期日を締切日とし、期日が休日の場合はその翌日を締切日とする。郵送の場合には期日必着、遅延は一切認めない。

十一 投稿規程の請求・投稿申込・論文提出受付窓口

直接の場合

慶應義塾大学三田教務部一・二番窓口

郵送の場合

〒108 東京都港区三田二一五一四五

慶應義塾大学教務部法学部係

なお、郵送で投稿規程を請求する場合は、封書で表面左下に「論究投稿規程請求」と記入し、返信用封筒(長形三号を使用。宛先記入の上、切手七二円を貼付)を同封すること。

十二 第十九号以降の問合せ先(封書に限る)

〒108 東京都港区三田二一五一四五

慶應義塾大学法學部研究室内

池田 真朗

表面左下に「論究問合せ」と記入し、返信用封筒(宛先記入の上、切手六二円を貼付)を同封すること。

一 本号に掲載された論文は、八件でした。内訳について記しますと、「論究」委員会より依頼した論文が一件、一方審査対象となつた投稿論文が九件、そのなかで、厳正な審査をして最終合格となつた論文が七件でした。

二、投稿に関する問い合わせについては、時間的な余裕をみて、指定された「問い合わせ先」に必ず封書でお願い致します。

三 藤原淳一郎教授が在外研究にてかけられたあとをうけて、その残任期間につき霞が編集進行の役を担当してまいりました。ところで、本号編集をもって当該任期も満了となり、新たに池田真朗教授が編集担当幹事の任に就き腕をふるわれるようになりました。これまでのご支援やご協力に心よりお礼申し上げます。今後池田幹事のもとへさらなるご寄稿、ご投稿をお願い致します。

(霞 信彦・記)

〔編集後記〕